かけはし

学校と家庭とを結ぶ学年通信

明石市立江井島中学校　第１学年

～　合言葉は「みんなでみんなを！」～

2019年　6月　7日NO，１３

集団行動発表会の成果を糧に！

約２週間、体育の授業で学んだ「集団行動」の発表会が無事終了しました。保体委員が中心となって練習から本番の司会進行を行ってくれました。この行事をとおして、クラスの団結力は強まったと感じます。また、ほぼ全員が体育館で、この時間を共有できたことはよかったと思います。

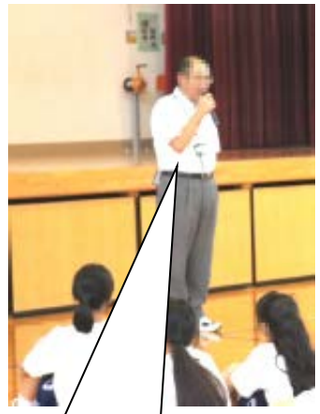
さて、日々の授業で大きな声で号令をかけてくれる保体委員の思いを受け、皆さんは『一所懸命』にやりきれたでしょうか？自分自身に問いかけてみて下さい。胸をはって「ハイ」といえる人。そうでない人・・・。

これから２大行事を初め、このクラス・学年で取り組んでいくことはたくさんあります。
そんなとき、各自に与えられた立場や仕事にどれほど責任をもってやりきれるかが集団の質を高めていくことにつながります。今回の行事は、その第一歩といえるでしょう。よかったことも悪かったことも、これを４３回生の原点ととらえて、これからの学校生活に活かしていきましょう。



２組は、集団の動きに、個々の意識が集中していました。「一糸乱れぬ」　という言葉があてはまる集団行動でした。





「どんなことも１００％、完成というものはありません。
常に、今日よりも明日、明日よりも明後日というように、成長進化していって下さい。」
43 回生へのありがたい激励の言葉を大事にして、これからも進化していきましょう。



トップバッターの１組。
大きな声、きびきびした動きに感動しました。腕もよく上がっていますね。



3 組は、ふだんの授業のあいさつも大きく、動きがそろっています。あいさつが美しいと、品格があがりますね。







保体委員のみなさん、日々の授業での号令から、本番の司会進行まで、本当によく頑張りました。
自分の力をみんなのために使ってくれるリーダーの働きは、学年の宝です。ありがとう。

2組文化委員　　の指揮のもと、今までで一番大きな声で「校歌」を歌えました。集団行動をやりきった後の達成感がみんなの心を大きく開かせたのでしょう。これからも続けていきましょう。

